

1054 Tc99m-HMPAO を使用した簡便な脳血流半定量法の一案 ～BURを算出して～

宮崎吉春、滝本政盛、塩崎潤、井上寿、谷内永仁、伊藤廣（能登総合病院中放）橋本正明（能登総合病院脳外）
絹谷清剛、利波紀久（金沢大学医学部核医学教室）

Tc99m-HMPAO (PAO) 投与後の大動脈弓部通過量に対する左右大脳半球の集積率 (Brain Uptake Ratio, BUR) を求め、松田らの方法による同部のBrain Perfusion Index (BPI) と比較した。その結果、投与後60-80秒の頭部平面像及び SPECT像のカウントより求めたBUR は、BPI と高い相関を示し、BPI よりの平均脳血流量は、 $Y=0.94x+13.1$ ($r=0.906$ $p<0.01$) の回帰式で推定可能であった。

BURは、簡単に算出可能、小視野のガンマカメラでも算出可能、かつ虚血部が後頭部や深部に存在していても忠実に虚血量を反映していた。以上の見地からBUR は、有用な脳血流半定量法のひとつであると思われた。